

「カンポ・リンポ・パウリスタ市保健所建設計画」署名式

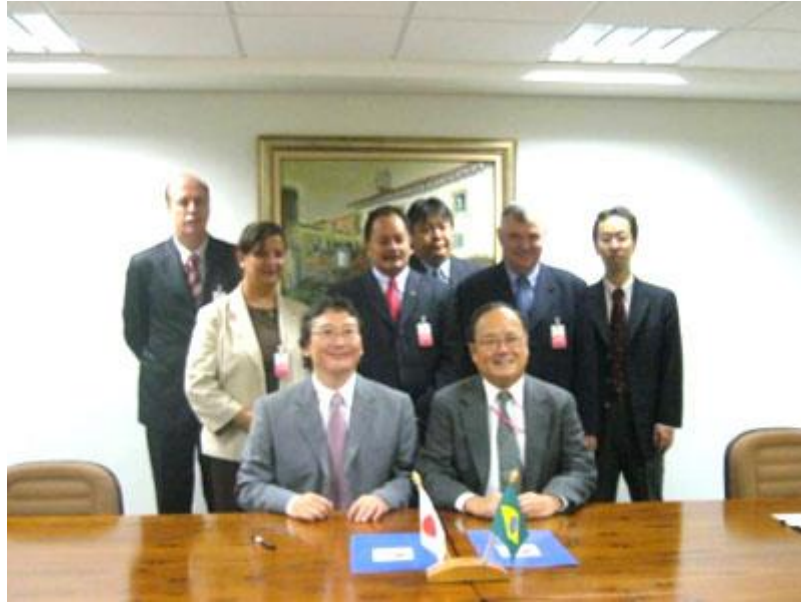
2006年2月14日、在サンパウロ日本国総領事館において、サンパウロ州カンポ・リンポ・パウリスタ市との間で、草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式が行われ、当館西林万寿夫総領事、アルマンド・ハシモト・カンポ・リンポ・パウリスタ市長らが出席しました。



ハシモト市長（左）
西林総領事（右）

署名式においてハシモト市長は、100年前に開始した日系移民及びJBICによるチエテ川田借款プロジェクトなどの経済協力に触れながら、「グローバル化の時代となったが、地域レベルで問題を解決することが重要であり、この度の日本政府のカンポ・リンポ・パウリスタ市への支援は、二国間合意が地域レベルで援助を必要とする人々の生活改善に直接寄与したものである。」と述べ、日本政府及び日本国民へ厚い謝意を表明しました。

それらに対し、西林総領事は「今般の協力により、カンポ・リンポ・パウリスタ市民の医療保健環境の改善に貢献出来ることを光榮に思う。」と挨拶しました。



出席された皆さん

○上記案件のプロフィール

案件名：「カンポ・リンポ・パウリスタ市保健所建設計画」

被供与団体：カンポ・リンポ・パウリスタ市

契約署名日：2006年2月14日

供与限度額：92,429米ドル

案件概要：

カンポ・リンポ・パウリスタ市（人口7.3万人）は、サンパウロ近郊に位置し、サンパウロへの通勤者も多い町である。

同市は、1991年以降人口増加率が高く、特に低所得層の集まるZEIS地域に人口が集中しています。今回の無償資金協力は、特に人口増加率の高いZEIS地域パルケ・インターナショナル地区の既存保健所を移転させ、新たに保健所を建設するための費用を援助したものです。